

創

—第 83 回—

お湯よし人よし

別府の宝は何ですか？とよく質問されます。

迷わず私は「人です」と答えます。温泉ではなく？という顔をされます。期待を裏切るのが好きな意地悪さも持ち合わせております(笑)

でも本心からそう思っています。もちろん温泉は言うに及ばずです。先日、別府の名物イベントに成長した「ワンベツドリムアワード」が開催されました。これは全国的にも最近盛んに行われている、いわゆるビジネスプランのピッチイベントですが、さすがに別府は熱量が違う。数十にも及ぶ会社や個人が提案を持ち合い、最終的には10程度に絞り込まれ、さらにそこから過酷な磨き上げ作業が始まります。途中で挫折しても容赦はありません。自分の夢は、情熱はその程度かと自問



別府市長

長野 恭紘

自答しながら、支えてくれるビービズリンクのメンバーや仲間と共に自らの提案を磨いていくのです。

今年のファイナリスト10人の提案も本当にシビレました。ここでは書ききれませんが、別府の課題や問題の解決に向けて頑張る人を様々な企業・個人が寄ってたかって支援する。支援された側は絶対に夢を実現させ今度は支える側に回る。そんなまちに別府は生まれ変わったと思います。

別府は湯も熱いが人が熱い。そんな素敵な湯のまち別府の一員であることが私は誇らしい！
(3月7日執筆)



フォトべっぷ



J 3昇格への熱き決意—2月24日、ヴェルスパ大分の皆さんが2023シーズン開幕の挨拶のため市長表敬訪問されました。監督や選手からは開幕に向けて新たに見つかった課題やJ3昇格に向けた熱い思いなどが語られました。



宇 宙ビジネスの未来を探る—2月13日、宇宙産業創出に向けた「別府市宇宙ビジネスフォーラム！」を開催しました。約150人が参加し、意見交換が行われました。今後は宇宙ビジネスの可能性を追求し、地域経済の発展につなげていくことを目指します。



ア ート創造の1年間—2月26日、アーティスト・クリエイターたちの居住・制作の場である清島アパートの居住者が1年間の活動報告を行いました。3月で退去する大平由香里さんは別府での活動に感謝し、別府との繋がりを持ち続けたいと述べました。



世 代を超えたつながり—2月19日、山の手小学校で山の手ひと・まち協議会による「三世代ふれあい交流会」が開催され、子どもから大人まで約200人が参加しました。参加者は駒回しや羽子板、ヴェルスパ大分の選手によるキックターゲットなどを楽しみました。